

訪問ガイド **2026**

サン・ピエトロ大聖堂

ローマ · から 13€

https://basilicasanpietro.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット＆料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

建築の天才が紡いだ二世紀

GOOGLE 4.8 ★★★★★ 186 158 レビュー

TIQETS 3.3 ★★★☆☆ 2 039 レビュー

サン・ピエトロ大聖堂の歴史は、バチカンの顔つきを形づくった巨大な建造物の物語である。 工事は1506年4月18日に開始され、コンスタンティヌス朝の旧大聖堂とカリギュラ皇帝のサーカスの遺構の上で進められた。伝承によれば、使徒ペトロの殉教はこの地で行われたとされる。 この壮大な建設事業は100年以上にわたり、1626年の完成に至り、ローマ・ルネサンスの精神的・芸術的力強さを示している。 当初の計画はドナト・ブラマンテに委ねられたが、建物の最終的な建築的偉大さを決定づけたのはミケランジェロであり、特に巨大なドームの設計において顕著であった。 彼の死後、カルロ・マデルノが作業を引き継ぎ中殿を延長し、その後ジャン・ロレンツォ・ベルニーニがサン・ピエトロ広場を囲む巨大な柱を彫刻した。 この天才たちの連続は、純粋なルネサンス様式から華やかなバロック様式へと至る流暢な様式変遷を可能にした。 主祭壇の下には、1940年代にルドルフ・カース枢機卿が実施した考古学的発掘調査で発見されたとされる聖ペトロの墓がある。 この中央的な立地により、大聖堂は建築上の傑作であるだけでなく、カトリック教会にとって最も神聖な場所でもある。 ユネスコ世界遺産に登録されている現在の構造は、信仰、芸術、そして工学の間に存在したこの歴史的で唯一無二の協働の結実である。 今日、この建物は依然として教皇庁の心臓部であり続けている。 その記録的な6万人を超える収容能力により、毎週数十万人の巡礼者を集める日曜日の天使の祈りなどの大規模な祝祭行事において、信者たちを歓迎することができます。 ここは生きた場所であり、千年にわたる歴史が現代のスピリチュアリティと出会う場です。

体験

巨大な門をくぐり抜けた瞬間、その空間の圧倒的なスケールがあなたを包み込みます。 天光がステンドグラスを透過し、白大理石のフレスコ画と彫刻を照らし出している。 そこは空気が清涼で静寂に包まれ、周囲の都市の喧騒とは対照的な印象を与える。 この場所の歴史的な存在感は、何世紀にもわたる祈りと教皇の儀式によって支えられ、すぐに感じ取ることができます。 ドームへの登りは、身体的にも視覚的にも強烈な体験をもたらす。 狭い階段を上ると、隠された建築の細部と、頂上からのローマのパノラマビューが目に飛び込んできます。 それは絶対的な静観の瞬間であり、ミケランジェロの偉大な作品と、足元のイタリアの首都の美しさを体感できる。



訪問の準備

実用的な情報

住所
バチカン市国・地下鉄：Ottaviano（A線）またはPiazza del Popolo（B線）、徒歩10〜15分。

開館時間
大規模な教皇行事（アングエラス、謁見など）時には閉館する可能性があります。ご来訪前に暦を確認してください。

料金
本堂は無料。有料プラン（ドーム/Pétros ení）は13€から。{promo}。

所要時間
本堂の見学には1〜2時間を見込んでください。体力に応じて、ドームへの登頂にはさらに45分〜1時間が必要です。エレベーターは最上部まで行きません。

写真撮影
本堂とドームではフラッシュなしでの写真撮影が可能です。Pétros ení展示の一部エリアでは撮影禁止です。礼拝時の静粛を守ってください。

対象者
家族連れや建築愛好家にとって理想的なスポットです。強いめまいのある方はドームへの登頂をおすすめしません。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

地下鉄
: Cavalleggeri/S. Pietro — 3 min à pied
ローマ・テルミニ駅 (15 min) · ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (54 min)

バス
: Aurelia/Bonifacio VIII — 3 min à pied
ローマ・テルミニ駅 (24 min) · ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (88 min)

車
ローマ・テルミニ駅 (16 min) · ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (70 min)

自転車
ローマ・テルミニ駅 (20 min) · ローマ・フィウミチーノ レオナルド・ダ・ヴィンチ空港 (94 min)

LOCALISATION

Où se trouve サン・ピエトロ大聖堂 ?



📍 Piazza San Pietro — 00120 ローマ

🌐 41°54.130′ N, 12°27.236′ E



組織

訪問の構造を理解する

主聖堂（1階）

これはバジリカの中核であり、広大な中央中廊と側礼拝堂が特徴です。ベルニーニの華蓋の下にある聖ペトロの墓や、数多くの聖なる芸術作品をご覧いただけます。空間は広く、礼拝の静寂を尊重しながら、訪問者が自由に移動できます。

ドームのテラス

エレベーターまたは階段を利用した後にアクセスできるこれらの中間階は、ドーム内部構造を初めて眺めることができます。ここでは、最終的な登頂を続ける前に、ヴォールトや描画装飾の複雑さを鑑賞できます。

ドームの頂上

最高地点からは、ローマとサン・ピエトロ広場のパノラマビューが絶景です。床には複雑な幾何学模様のモザイクが施されており、空気はしばしばより涼しく感じられます。バチカンの高所から街全体を撮影するには最適なスポットです。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス
中殿にはバリアフリー設備が整っています。ドームへのアクセスは体調に応じて判断してください。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け
ファミリー向けですが、ドレスコードとドーム登頂時の子どもの疲労にご注意ください。

🎧 オーディオガイド
フランス語, 英語, スペイン語, イタリア語, ドイツ語



必見スポット

選択

大聖堂の絶対的な至宝

01 **GIAN LORENZO BERNINI** 十字部

ベルニーニの華蓋

この金箔を施したブロンズ製の巨大な構造は、聖ペトロスの墓の上にそびえ立っています。ねじれた柱と圧倒的な高さは、このバシリカ（大聖堂）の中心的な視覚的シンボルとなっています。この荘厳なバロック芸術作品の全貌を把握するには、頭を上げなければなりません。

> 💡 ベルニーニはパンスティオン（パンテオン）のファサードから回収されたブロンズを使用しました。そのため、彼の後任者には有名な批判が向けられました。「ローマ人がしなかったことを、ベルニーニはやってしまった」というものです。

02 **MICHEL-ANGE** ブランカッチ礼拝堂

ピエタ

カララ大理石で彫られたこのマリアがキリストの遺体を抱く像は、その優美さと技術的な精巧さにおいて比類のないものです。これは巨匠が署名を残した数少ない作品の一つで、1498年の制作です。アクリルガラスによる保護により、劣化の心配なく細部まで鑑賞できます。

> 💡 24歳のミケランジェロがこの完璧な作品を完成させた際、謙虚さから他の彫刻への署名を拒んだと言われています。

03 主祭壇の下

聖ペトロの墓

特定のガイド付きツアーでのみアクセス可能なこの地下礼拝堂には、使徒とされる遺骨が安置されています。中央に位置するこの場所は、彼がローマ初代司教であった役割を強調しています。これは建物の霊的な焦点です。

> 💡 1940年代の考古学的発掘調査により、主祭壇の下に古代の墓が存在することが確認され、カトリックの伝統が裏付けられました。

04 **MICHEL-ANGE** ドーム内部

ミケランジェロのドーム

頂上からは、使徒たちを描いたフレスコ画と内部構造を鑑賞できる。街並みへの眺望は絶景であり、下りる過程では建物の建築的複雑さが明らかになる。これはミケランジェロの天才の究極の証である。

> 💡 このドームは非常に広く、その構造内に2つの教会全体を収容できるほどである。

05 サン・ピエトロ広場

バチカンのオベリスク

広場の中央に立つこのエジプトのオベリスクは、3000年以上の歴史を持ち、バチカン競技場（Circus Vaticanus）の遺構である。これは象徴的に聖ペトロ殉教の地を示しており、その存在はバシリカをローマ古代史の中に根づかせている。

> 💡 深い基礎を設けず、単に地面の上に据えられているだけであり、その規模に対して技術的に驚くべきものである。

06 サン・ピエトロ広場

ベルニーニの噴水

大聖堂の入口を両側から囲む2つの巨大な噴水は、バロック様式の流体力学の傑作です。それらは広場に動的な音と視覚的な次元を加えています。夏には、勢いよく吹き出す水が涼しく落ち着いた環境を作り出します。

> 💡 ベルニーニはこれらの噴水を設計し、広場の建築的硬直性との対比を生み出し、動きと生命をもたらしました。

07 GIAN LORENZO BERNINI 聖域

教皇の講壇

この大理石と貴木で作られた講壇は、教皇が説教を行う際に使用されます。その精巧なデザインは、教皇の霊的・世俗的な権威を反映しています。聖ペトロの墓の近くに位置しており、教会の現在と起源との直接的なつながりを生み出しています。

> 💡 講壇には、極めて精密に彫刻された聖書の場面が装飾されており、自然光のおかげで遠くからでも見えます。

08 GIAN LORENZO BERNINI サン・ピエトロ広場

広場の柱

コリント式柱の2列が楕円形の広場を囲み、教会が信者たちを受け入れる腕を象徴しています。この都市建築は世界で唯一無二のものであり、視覚的に巡礼者をバジリカへの入口へと導きます。

> 💡 ベルニーニはこの広場を設計し、教皇がロッジアから集まったすべての信者を見渡せるようにしました。これにより、聖なる都市劇場が創り出されました。

アドバイス

混雑を避けるための私たちのコツ

タイミング

公式の開園時間の30分前に到着し、朝の光を楽しみながら組織的なツアーグループを避けましょう。最も静かな時間帯は通常8時から10時です。

チケット

クーポールと「Petrosení」展は、必ずオンラインで予約してください。中庭（ネフ）は無料ですが、有料エリアの入場にはQRコード付きの氏名記載チケットが必須です。

巡回路線

まず中殿から訪れて全体のスケールを把握し、疲れを感じ始めたらドームへ昇ります。最後にサン・ピエトロ広場に出る出口から出て、最後の眺めを楽しんでください。

写真

天からの自然光は朝が最適です。中殿ではフラッシュの使用を避けてください。ドームからは街並みの絶景が広がりますが、逆光に注意してください。

休憩

バジリカ内部にはカフェはありません。ドームへの肉体的な登頂を開始する前に、サン・ピエトロ広場や近隣の博物館で休憩をとることをお勧めします。

子ども

非常に幼い子どもや重度のめまいに苦しむ方々には、ドームへの登攀は推奨されません。工事の歴史に興味を持ってもらうためにデジタルオーディオガイドをご利用ください。

オーディオガイド

有料チケットに含まれるデジタルオーディオガイドは、建築家たちの歴史や隠された詳細を理解するために不可欠です。リンクを有効にするには、24時間前にスパムフォルダを確認してください。

快適さ

ドームの533段の階段のために、履き心地の良い靴を履いてください。厳格なドレスコード（肩と膝を覆うこと）を守ってください。バッグにスカーフや軽めのパンツを用意しておきましょう。



よくある質問

よくある質問

バジリカに入るために予約は必要ですか？

本堂は無料で自由に入れますので予約は不要です。ドームやPétros eníi展示へのアクセスには、公式サイトからのオンライン予約が推奨され、場合によっては必須です。これにより長い行列を避け、希望時間帯を確保できます。

チケットのキャンセル方法は？

予約確定後は、このチケットはキャンセルも返金もできません。支払い前に日付、時間帯、参加人数をよくご確認ください。確定後の変更はできません。

予約後にQRコードを受け取れますか？

はい、購入後、各参加者用の個人QRコード付きバウチャーを含むメールが届きます。このコードはバジリカ、ドーム、展示への入場に不可欠です。30分以内に届かない場合は、TIE参考番号を添えて予約サービスにお問い合わせください。

購入後に訪問日を変更できますか？

いいえ、公式サイトで確認された予約は変更できません。急な予定変更がある場合は、チケットの条件に従ってキャンセルし、空きがあれば新しい予約を行う必要があります。購入確定前にスケジュールを必ずご確認ください。

完全な見学にはどのくらい時間がかかりますか？

バジリカの本堂見学には1〜2時間を見込んでください。ドームへの登頂を含む場合は、ペースに応じてさらに45分〜1時間追加が必要です。Pétros eníi展示には約45分かかります。すべてを落ち着いて見るには一日丸ごとがおすすめです。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

533段の階段の秘密

ドームへの登頂には、狭い533段の階段を登る必要があります。エレベーターは中間の高さまでしか上がらず、残り約320段の階段を自力で登らなければなりません。これは肉体的な挑戦ですが、眺めはその価値があります。階段は狭いため、他の訪問者に注意してください。

記録的な収容能力

敷地面積2.3ヘクタールのこの大聖堂は、同時に6万人以上を収容できる。世界最大のキリスト教カトリック教会である。この収容能力は、大規模な宗教祭礼時の膨大な数の巡礼者を吸収するために設計されたものである。

千年のオベリスク

サン・ピエトロ広場のオベリスクは3000年以上の歴史を持つ。これはカリギュラが建設した私設サーカス「チルクス・ヴァティカーヌス」の貴重な遺跡の一つである。伝承によれば、ここは聖ペトロが十字架にかけられたとされる正確な場所である。

伝説の4人の建築家

この作品は、ブラマンテ、ミケランジェロ、マデルノ、ベルニーニという4人の偉大な建築家の協働の結実である。この天才的な継承により、純粋なルネサンス様式から華やかなバロック様式への進化が実現した。各建築家は、この建造物に消えざる痕跡を残している。

博物館周辺

すぐ隣にあるバチカン美術館では、システィーナ礼拝堂やラファエロの部屋を通じて、補完的な没入体験を提供します。人混みから離れて静かなひとときを過ごしたい場合は、イエズス会神父たちの回廊を経由してアクセスできる、バチカンの庭園が隠れたオアシスのような安らぎの場となっています。バロック芸術の探求をさらに深めたい方は、近隣のボルゲーゼ美術館にベッルニの傑作が収蔵されています。最後に、ピアッツァ・ナヴォーナは、歴史的な中心部に戻る前に軽食を楽しむのに最適な、親しみやすい雰囲気を醸し出しています。



サン・ピエトロ大聖堂を訪れることは、キリスト教の歴史に直接触れ、西洋芸術の最高峰を鑑賞することである。 スピリチュアリティであれ建築学であれ、この体験は記憶に深く刻まれている。 一つひとつの細部に目を留めてみてください。ここには、千年の時を語る石々が息づいています。